

パンフレット・ホームページ 制作と有効な活用方法について



社会福祉法人ぷろぼの
川崎 裕平

内容

5/18 第1回 活用編

- パンフレット、ホームページとは
- パンフレット、ホームページの特徴
- 活用するということ
- 最近の動向
- 情報の流れ

6/15 第2回 制作編

- 現状整理
- あるべき姿の整理
- 法人パンフレット・ホームページの
必要な要素
- 対応範囲

現状整理

パンフレットやホームページの制作・リニューアルには理由がある！

- なぜつくるのか？ どうして必要なのか？
- 良いところ、気に入っているところ、変えたくない、変えられないところは何か？
- 現状の問題、課題、こうなればいいという希望は何か？

※問題課題は及第点あればOK、それより良いところを伸ばすことを大事にする！

これらの要素をまとめて目的設定のための土台とする

必要性・経緯・背景

- 現在のホームページを制作して7年経過
- この間に新規事業や既存事業も具体的な内容が変わってきている
- 都度、追加、改廃してきたが情報が煩雑化してきている
- また、スマートフォン対応もまだで、見た目も古めかしくなってきたので今ふうにした

伸ばす：良い部分

- 得意分野の内容
- 自信のあるところ
- だれかに評価された内容
- 気に入っている
- 理念など一部の文章は変えない

及第点：問題・課題・希望

- 情報が古い
- 情報が整理されていない
- 文字が小さい
- 情報を探しにくい
- スマートフォンで見にくい

あるべき姿の整理

現状は「あるべき姿」ではない では、あるべき姿とは？

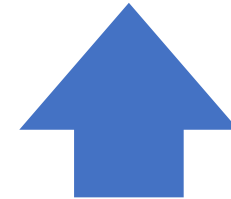
あるべき姿（状態・状況） ・
有りたいと思う姿（状態・状況） は？
そして、あるべき姿になるために
パンフレットやリーフレットは

- どんなひとに見てもらおうのか？
- 見たあとにそれを見たひとはどうなっているのか？
- そのためには何を伝えればいいのか？

これらを整理する

あるべき姿

企業から仕事の依頼が増え、売上があがっている



どんなひと？

〇〇（自社サービス・商品）を探している企業

何を？

サービス、商品が企業に対して価値を提供できる

どうして欲しい？

企業から依頼や相談がくる

法人パンフレット・ホームページに必要な要素

パンフレット（チラシ）

法人がなぜ存在しているのか？ 何を成そうとしているのか？ そのためにどういうことをしているのか？
これらを多くの方に知ってもらうのが法人パンフレットの役割で法人にとっていちばん重要で基本的な広報物となる

情報量が多くなりすぎないようにポイントを絞り、
写真、図、表なども添え体系的にわかりやすく伝える



詳細はホームページに誘導・連動する

- 法人がなぜ存在しているのか？（パーパス・理念）
法人は何を成し得ようとしているか？（ビジョン、ミッション）
- 具体的にどのようなことをしているのか？（事業・サービス）
- それらは対象者にとってどのようなになるのか？
それはどのような価値があるのか？

- 根拠となる実績、数値
- 基本情報（法人名・住所・連絡先）

※サービス案内パンフレット、営業用パンフレットは分けて考える

法人パンフレット・ホームページ必要な要素

ホームページ

ホームページはパンフレットより多くの情報をわかりやすく見せることができる

パンフレットの内容は踏襲し、さらに「ブランド」「サービス」「EC」「リクルート」などの具体的な目的・目標達成の内容の情報を充実させる

さらに、web媒体の特徴を活かし鮮度の高い情報や、音、映像も活用していく

※一定のボリュームがある場合、「コーポレートサイト」「ブランドサイト」は別サイトに分ける事も考える

Web媒体の特徴を
生かしたコンテンツ

- Blog
- お知らせ
- 問い合わせフォーム
- 動画
- SNS

※動画はYou Tubeを活用し、HPへ埋め込むことでHPのコンテンツ・SNSコンテンツの両方の効果がある

対応範囲

あるべき姿に向けて何を載せるか？どんな機能を載せるか？等
こだわりだして多くのことを求めると、それだけ多くの時間や費用が
かかるようになる。

ここから実際に制作する（できる）具体的な内容や条件をまとめる
「希望納期」「予算」や「リソース」「どのような成果物を作るのか」

予算や時間的制限があるため一度に多くは求めず、
区切りをつけて段階的にリリースすることも視野に入れる

対応範囲の例

予算	30万	希望納期	23/11/15
仕様 条件	<方針> 法人についてわかりやすく知ってもらい 興味を持ってもらった方にはHPへ誘導しより詳しく 知ってもらう最初の一步とする 文字だけではなく、写真・図表をつかい視覚的、直 感的に内容がわかるようにする		
	<内容> ・法人理念（ビジョン・ミッション）・理事長挨拶 ・事業紹介（A型・B型・相談）・実績 ・基本情報（各拠点の住所・連絡先）		
	<制作> ・デザイン、印刷、カメラマン外注 ・原稿案、一部写真等は内製する		
	<印刷仕様> サイズ：A4版 ページ数：16P 加工：中綴じ 色：両面4色 紙質：上質紙110kg 部数：1000部		

チラシ→HP連動

テレワーク・在宅で働きたい方へ

障がいのある方のテレワーク就労支援

「社会福祉法人ぶろぼの」の「テレワーク就労支援」では、通勤や人の多い環境が苦手な方でも在宅で参加できる訓練プログラムを用意しています。

こんな方がテレワーク支援をご利用されています

- 障がいによりバスや電車など公共交通機関での通所が難しい方
- 人の多い環境が苦手な方
- ひきこもりがちな方
- 自宅から通える範囲に自分に合う職種が見つからない方

詳しくはHPをご覧ください

相談、質問、利用について最寄りの事業所へお気軽にお問い合わせください。

事業所一覧

- テクノパークぶろぼの生駒
☎0743-85-5658 ✉ ikoma@vport.org
- テクノパークぶろぼの橿原
☎0745-96-9012 ✉ hc-halbara@vport.org
- テクノパークぶろぼの津
☎059-269-7860 ✉ tsu@vport.org

社会福祉法人ぶろぼの
〒371-8539 東3やまと車庫ビル201号
社会福祉法人ぶろぼの



好きな場所で、好きに働く

障がいのために通勤が難しい、通勤の電車やバスが苦手、周囲の人の声や視線が気になる、通えるところに働く場所がないなど、障がいのある方が働きづらくする理由がたくさんあります。

これからは、テレワーク・在宅就労を目指した訓練プログラムに参加し、「好きな場所で、好きに働く」を目指しませんか？

得意にしたい「技術」を学び、テレワークに必要な「働く力」を身につけます。

>「働く力」を身につける

- チャットやメールなどコミュニケーション方法
- テレワークに必要なビジネスマナー
- 自分の障がいについて、得意なこと・不得意なこと

求人票の見方、応募書類の作り方などの講座開催
オンラインでの面接練習
●当法人の企業との繋がりを活用した求人紹介など

テレワーク就労支援の利用イメージ

自宅訪問 → 体験利用 → 利用開始 → 訓練・就労活動

就業支援
●定期的にご本人と面接を実施
●企業への訪問支援
●ご家庭のご相談にも対応

動画

詳細情報

メディア掲載

メディア掲載情報

チラシは短くわかりやすく
QRをつかってHPへ誘導

HPではよりわかりやすく、情報量を増やし、
動画やメディア掲載の情報をいれて伝える

まとめ

パンフレットやホームページを制作するときのポイント

●現状

今の状態を正しく整理し、強みを伸ばす

●あるべき姿

理想の状態は？本来のあるべき姿は？

そこに向けて「誰に」「何を」つたえ「どうしてほしい」

●法人パンフレット、ホームページで必要な要素

「法人の存在意義・理念・ミッション」「事業内容」

「社会に対する価値」「エビデンス」「基本情報」

●対象範囲を定める

いつまでに？いくらで？どんなものを？

できる範囲で一歩ずつ段階を経て成長させていく

